

## TSMCの決算、円安が好感され 2営業日続伸

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

### 2営業日続伸

昨日の日経平均は前日比+164円(+0.6%)の2万6643円と2営業日続伸した。ザラ場で台湾のTSMCが4-6月期の決算発表をしたが、純利益は市場予想を上回ったことから、東京エレクトロン、レーザーテックなどの半導体製造装置関連の銘柄が買われた。同時に発表されたTSMCの今年の設備投資の計画では400億~440億ドルと計画しているレンジの下方で着地する見通しであることを示されたが、設備投資計画についても不透明感が払拭された。個別銘柄では前日に決算を発表したサカタのタネが一時はストップ高まで買われ、川崎汽船、商船三井など海運株も買われており、業種別騰落率では水産と海運が上位1位と2位。一方で、東京電力HDが急落したことから業種別で電力・ガスが最も下落した。

### 次回FOMCにて政策金利1%引き上げの憶測後退

現地14日のNYマーケットでは、前日に発表された6月の米CPIの数字から、次回のFOMCにて政策金利を1%引き上げる可能性の台頭したことや米国の景気後退への憶測から、NYダウは一時▼600ドル以上の下落となった。その後、FRBメンバーから次回FOMCでは政策金利の引き上げは最大でも0.75%に留まるであろうとの発言や、本格化する5-6月期の決算を見極めたいとの動きから下げ幅を縮め、NYダウは▼142ドル(▼0.4%)の下落で終了、ナスダックは同▼107ポイント(▼0.9%)の1万1251ポイントで終わった。ナスダックはTSMCの決算発表を好感して、クアルコム(前日比+4.6%)、アプライドマテリアルズ(+2.9%)など半導体関連銘柄が買われた。米10年債利回りは前日比+0.03%の2.96%で終わった。

### 円安の追い風期待。ファーストリテイリングは上方修正

今朝のシカゴ日経平均先物は先証比で横ばいとなる2万6700円で終わっている。6月の米CPIの発表を受けて為替市場では一気に円安ドル高が進んだが、今朝のドル円(6時50分現在)は1ドル139円を挟んだ展開。グローバルな日本企業にとって、この円安の流れは業績に追い風となることが期待できよう。昨日に発表されたファーストリテイリングの第3四半期の決算は、増収増益であり、通期の予想について上方修正が発表されている。

#### 東京市場マーケットデータ

2022/7/14 現在

日経平均	2万6643円
プライム売買代金	2兆2407億円
プライム時価総額	681兆3691億円
日経平均予想PER	12.8倍
日経平均PBR	1.1倍
日経平均配当利回り	2.4%

出所: Quick

#### 日経平均パフォーマンス

年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

出所: Quick

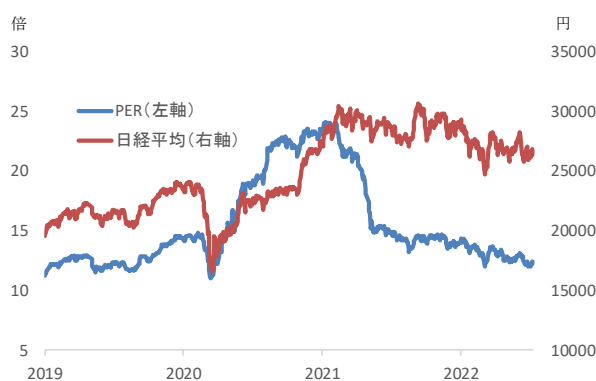
#### 国内株式売買代金ランキング

2022/7/14 現在

	株価前日比
1 レーザーテック	5.3%
2 東京エレクトロン	3.3%
3 東京電力HD	▼7.6%
4 ソフトバンクグループ	0.8%
5 ファーストリテイリング	1.4%
6 トヨタ	0.2%
7 三菱UFJFG	▼1.7%
8 キーエンス	3.4%
9 日本郵船	2.0%
10 川崎汽船	3.8%

出所: Quick、アイザワ証券作成

#### 日経平均と予想PERの推移



## 金融商品取引法に基づく表示事項

### ■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

### アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

